

2019年度 大阪市立大学 春の人権問題講演会 がんを経験し、がんと生きること

開催日時

2019年5月17日(金) 10:50~12:30

場 所

大阪市立大学
学術情報総合センター10階 大会議室

講 師

あまの しんすけ
天野 慎介 氏
(グループ・ネクサス・ジャパン/全国がん患者団体連合会 理事長)



【講師プロフィール】

1973年東京都生まれ、慶應義塾大学商学部卒。2000年、27歳のときに悪性リンパ腫と診断され、化学療法、放射線療法、自家末梢血幹細胞移植を受け、2回の再発を経験。自身の経験をもとに悪性リンパ腫の患者団体「グループ・ネクサス・ジャパン」の活動などに関わる。現在、一般社団法人全国がん患者団体連合会理事長、一般社団法人神奈川県がん患者団体連合会理事長のほか、様々な委員を務め、当事者の立場から、がん患者支援に携わり続けている。

がん治療の進歩に伴い、より多くのがん患者に治癒が期待できるようになっている一方で、がん患者の感じる身体的、精神心理的、社会的な苦痛は未だ大きなものがあり、がん患者は様々な悩みと向き合いながら意思決定や治療選択を行っている現状があります。

がん患者が生活者として「がんになっても安心して暮らせる社会」の中で生きていくためには、どういった支援が求められているのでしょうか？治療の選択肢が増え、生存率も上がる中、闘病と仕事を両立しながら社会生活を送ることが求められる時代がきています。講演では、当事者の立場から、職場に、社会に、どのような支援と理解が求められているのかお話しさせていただきます。

申込方法

申込不要・当日先着順

※大阪市立大学 学生・教職員・市民どなたでも (定員：250名)

 大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

お問い合わせ先

大阪市立大学 人権問題委員会事務局 (教育推進課・庶務担当)

平日9時~17時 TEL : 06-6605-2132